

科目名 (科目番号)	高次脳機能障害 の理学療法 (時間割参照)	教員名	山本竜也	学科等	理学療法	選択	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー	火～金(17:00～18:00, A326)	
授業概要	理学療法士国家試験レベル相当の知識を確実に身につけるために、多様な動画や経験談などを交えながら分かりやすく解説します。前半には、国家試験対策も踏まえた脳画像読影のトレーニングを行います。後半には、実際の臨床像を提示しながら脳損傷後のリハビリテーションについて理解を深めます。							
目的・目標	目的:脳損傷後の機能障害に対する理解を深める。 目標:①脳損傷後の症状や発症メカニズムを受講前よりも具体的にイメージできるようになる。 ②理学療法士国家試験レベル相当の脳画像読影力を身につける。 ③中枢神経系分野に興味を持ち、苦手意識があればそれを払拭する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	中枢神経系の構造と機能	到達目標:高次脳機能障害を考察するために必要な基礎的な知識を理解する。 学習内容:中枢神経系に関する解剖・生理学的知識を復習する。					
	2	脳画像読影-1	到達目標:健常者のCT画像を基に各脳領域の同定が出来るようになる。 学習内容:CT(コンピュータ断層撮影)について学習する。					
	3	脳画像読影-2	到達目標:各種MRI撮像法(T1・T2・FLAIR・DWI etc.)の違いについて理解する。 学習内容:MRI(核磁気共鳴画像法)について学習する。					
	4	脳画像読影-3	到達目標:理学療法国家試験レベルの脳画像読影力を習得する。 学習内容:国家試験の過去問を用いて脳画像読影に対する理解を深める。					
	5	脳機能研究手法-1	到達目標:脳機能研究手法(脳波・fMRI etc.)の特徴を理解する。 学習内容:上記研究手法について学習する。					
	6	脳機能研究手法-2	到達目標:脳機能研究手法(神経化学・遺伝学的手法)の特徴を理解する。 学習内容:上記研究手法について学習する。					
	7	認知障害 - 1	到達目標:熟知対象の認知障害(物体失認・相貌失認 etc.)に関する理解を深める。 学習内容:『視覚』の生理学を復習するとともに、視覚性認知障害について学習する。					
	8	認知障害 - 2	到達目標:空間認知障害の症状を受講前よりも具体的にイメージできるようになる。 学習内容:症例を参考に空間認知障害(特に半側空間無視)について学習する。					
	9	動作・行為障害- 1	到達目標:高次運動野の機能に関して理解を深める。 学習内容:『運動』を生理学及び神経科学の観点から学習する					
	10	症例報告-1	到達目標:高次脳機能を含む中枢神経系評価の流れをイメージできるようになる。 学習内容:症例の脳画像を用いて病巣部位や臨床症状の推定を行う。					
	11	動作・行為障害- 2	到達目標:失行及び高次運動障害の症状を具体的にイメージできるようになる。 学習内容:実際の症例を参考に上記障害について学習する。					
	12	症例報告-2	到達目標:高次脳機能を含む中枢神経系評価の流れをイメージできるようになる。 学習内容:症例の脳画像を用いて病巣部位や臨床症状の推定を行う。					
	13	脳の可塑性-1	到達目標:脳の可塑性について理解を深める。 学習内容:『記憶・学習』を生理学及び神経科学の観点から学習する					
	14	脳の可塑性-2	到達目標:脳の可塑性の歴史や臨床応用について理解を深める。 学習内容:豊かな環境(Enriched environment)について学習する。					
15	脳の可塑性-3	到達目標:脳損傷後の機能回復メカニズムに関する理解を深める。 学習内容:脳損傷後の可塑性に関する最先端研究について紹介する。						
成績評価の方法・基準	対面時:小テスト(10%) + 小レポート(10%) + 確認テスト(80%) オンライン時:小テスト(10%) + 小レポート(10%) + 確認テスト(80%) *対面時とオンライン時の評価方法は同じ							
教科書	PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 第4版 脳機能の基礎知識と神経症候ケーススタディ 第2版			中島雅美ら 脳機能とリハビリテーション研究会		医歯薬出版 MEDICAL VIEW		
参考図書	高次脳機能障害学 第2版 カンデル神経科学 第2版 神経心理学コレクション			石合純夫 Eric R. Kandelら 山鳥重ら(シリーズ編集)		医歯薬出版株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル 医学書院		
教員からのメッセージ	病院および介護老人保健施設で勤務した理学療法士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合には、オンラインクラスにて変更のシラバスを周知いたします。							